

2024年10月25日  
 日本ガイシ株式会社  
 株式会社Sustech

## 日本ガイシとSustech

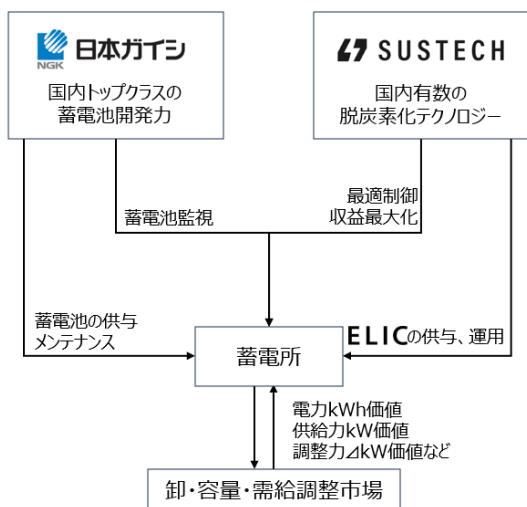
### 電力運用プラットフォームELICを活用した蓄電所ファンドの設立検討

日本ガイシ株式会社(代表取締役社長:小林茂)と株式会社Sustech(代表取締役:丹野裕介・飯田祐一郎)はこのたび、Sustechの電力運用プラットフォームELIC(※1)を活用した蓄電所ファンドの設立検討を開始しました。一層の関係強化を図るべく、日本ガイシからSustechへの出資も実施します。

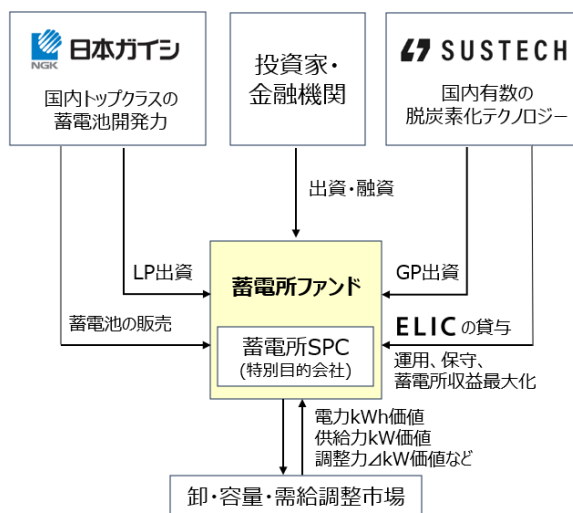
日本ガイシとSustechは2023年9月に発表した「電力運用プラットフォームELICによる蓄電所事業の収益最大化に向けた取り組み開始に合意」(※2)に基づき、ELICを用いた蓄電所事業の収益最大化に向けて取り組んでおり、2024年度末から系統用蓄電所の運用を開始する予定です。

蓄電所ファンドは、投資家から出資を募り、特別目的会社(SPC)を設立して蓄電所を運用することを目的としたファンドです。このたび設立を検討する蓄電所ファンドでは、日本ガイシが培った蓄電池技術と、AI技術や電力運用のノウハウを用いて高い予測精度の実績を誇るSustechのELICを活用し、運用による収益の最大化を図ります。得られた収益は、配当として投資家に還元することでさらなる投資を呼び込み、新規の蓄電所設立を目指します。

【 前回の合意内容 】



【 今回の発表内容 】



日本ガイシとSustechによる連携の枠組みの変化点

電力を安定供給するためには、需要と供給のバランスを常に担保する必要があります。太陽光や風力といった天候による出力変動の大きな再生可能エネルギーの導入拡大が進み主力電源化されていくなか、需給ギャップをなくすための電源(調整力)の重要性がこれまで以上に高まっています。従来は、主に火力発電がその役割を担ってきましたが、カーボンニュートラルな社会を実現するためには、新たな調整力の確保が急務となっています。

NGKグループは、中長期ビジョン「NGKグループビジョン Road to 2050」で、カーボンニュートラルへの貢献を取り組むべき社会課題の一つとしており、2030年に新規事業で売上高1,000億円以上を目指す「New Value 1000(NV1000)」を掲げ、外部アライアンスとの協業による新製品および新規事業の創出を積極的に進めています。

Sustechは、サステナブルな社会の実現に向け、テクノロジーを活用して企業や社会が効率的にGXに取り組める仕組みを開発しており、真にインパクトのあるグリーンビジネスの実現を目指しています。

日本ガイシとSustechは、蓄電池が持つ調整機能を最大限に引き出すべくELICを活用し、蓄電所ファンドの設立に向けた取り組みを中心に、カーボンニュートラル達成に向けたあらゆる課題解決に貢献していきます。

(※1)電力運用プラットフォーム「ELIC」:

Sustechが開発するAI「ELIC」は、再エネや蓄電池などの分散型電源の管理・運用を複合支援するエネルギープラットフォームです。発電された再エネを管理し、自家消費や余剰電力の売電、環境価値の市場取引を行うとともに、蓄電池を組み合わせ、さまざまな形で運用することが可能です。

<https://sustech-inc.co.jp/>

(※2)日本ガイシとSustech、電力運用プラットフォームELICによる蓄電所事業の収益最大化に向けた取り組み開始に合意: [https://www.ngk.co.jp/news/2023/20230913\\_1.pdf](https://www.ngk.co.jp/news/2023/20230913_1.pdf)

## <会社概要>

### 日本ガイシ株式会社

代表取締役社長: 小林 茂

住所: 愛知県名古屋市瑞穂区須田町2番56号

設立: 1919年5月

資本金: 701億円

ホームページ: <https://www.ngk.co.jp>

### 株式会社Sustech

代表取締役: 丹野 裕介・飯田 祐一郎

住所: 東京都港区芝3丁目1-14 芝公園阪神ビル5階

設立: 2021年6月

資本金: 25.3億円(資本準備金含む)

ホームページ: <https://sustech-inc.co.jp/>